

しむかつぷ

ぎかいだより

No. 187

2026年 8月号
(令和8年)



占冠駐在所が3名体制に 畜産農家への新たな支援制度を創設

📷 今月の表紙 『占冠保育所運動会』

6月20日に行われた占冠保育所運動会開会式でのくま組さん(年長組)による選手宣誓の一枚。



≪ 議会広報や議事録全文は
村ホームページでご覧になれます。 ≫

- 第3回定例会 p 2
- 村長行政報告 p 5
- 議員派遣・広域連合議会臨時会報告 p 6
- 一般質問 5議員 p 7
- 議員の主なうごき p12

が3名体制に な支援制度を創設

令和8年 第3回定例会

- 会 期 6月18日から19日まで（2日間）
- 一般質問 5議員
- 審 議 条例、補正予算、農業委員任命同意案など計27件をすべて原案どおり可決
- 傍 聴 18日…3人 19日…1人

条例の制定・一部改正

▼占冠村税条例の一部改正

固定資産税のうち家屋・償却資産の免税点（課税されない課税標準額）を引き上げるほか、軽自動車税環境性能割の廃止に伴う名称変更、住宅借入金等特別税額控除の適用期限延長、その他所要の改正を行うものです。

質疑

問 木村議員

固定資産税の免税点の改正に伴い、税収への影響をどのように見込んでいますか。



三浦総務課長

免税点となる課税標準額について、家屋を20万円から30万円に、償却資産を

令和7年度 補正予算 （専決処分）

一般会計（第11号）1億2,570万円減
総額 34億3,370万円→33億800万円

- ・富良野広域連合負担金 …… 541万2,000円減
- ・占冠村むらびと基金積立金 2,749万7,000円増
- ・村道除雪、草刈、管理等委託料 …… 958万円減
- ・職員費（給料、手当、共済費） …… 3,200万円減
- ・その他執行予算残の整理による減額など

国民健康保険（第4号） 1,360万円減
総額 1億2,620万円→1億1,260万円

- ・療養給付費 …… 1,112万5,000円減
- ・その他執行予算残の整理による減額など

村立診療所（第4号） 460万円減

総額 8,640万円→8,180万円
・執行予算残の整理による減額など

介護保険（第3号） 1,560万円減

総額 1億2,740万円→1億1,180万円

- ・介護サービス等給付費 …… 2,930万円減
- ・介護保険給付費準備基金積立金 1,500万円増
- ・その他執行予算残の整理による減額など

後期高齢者医療（第3号） 20万円減

総額 2,340万円→2,320万円

- ・執行予算残の整理による減額など

歯科診療所（第3号） 50万円減

総額 2,360万円→2,310万円

- ・執行予算残の整理による減額など

▼占冠村国民健康保険税条例の一部改正

賦課限度額及び軽減基準額を見直すほか、子ども・子育て支援納付金の新設及び令和12年度の全道統一保険料に向け段階的な税率変更を行うものと考えています。

150万円から180万円にそれぞれ引き上げますが、その範囲に該当する資産は限定的であり、大きな影響はないものと考えています。

三浦課長

法人税割の増加は、道東道4車線化工事関連の法人7社が新たに申告納税したことによるものです。均等割の減少は、ヴィレッジ所有法人8社が保養所を廃止したことが主な要因です。

令和7年度補正予算 （専決処分）

※主な内容は別表のとおり
二般会計 第11号補正

問 木村議員

法人村民税において、法人税割が増加した一方で、均等割が減少したのはなぜですか。

のです。

問 木村議員

ふるさと納税管理業務委託料が大幅に減額された理由を教えてください。

平岡企画商工課長

総務省の制度改正により、

問 木村議員

子育て応援事業利用料が全額減額された理由と、事業の必要性について伺います。

石坂福祉子育て支援課長

1歳時保育導入前に、1歳児の一時預かりとして開始された事業ですが、現在は1歳から入所が可能となったため利用実績がありません。住民の選択肢として継続してきましたが、今後、事業の継続について協議が必要です。

所在駐冠占 新たな農畜産

寄附額に応じた独自ポイント等の付与が禁止されたことが大きく影響しました。この変更により寄附額が減少したため、実績に応じた委託料が減額されたものです。

問 木村議員

保健事業検診受診料が約4割減額された理由と、住民の健康を守るための村の考えを伺います。

木村住民課長

総合健診やがん検診の受診者数が当初見込みに達しなかったため、減額となりました。今後は、住民の皆様への受診勧奨に一層努めてまいります。

問 木村議員

林業担い手対策事業など補助金の予算に消化不良が見られます。村の林業の現状と振興策への考えを伺います。

両瀬林業振興室長

各補助金の執行状況は、実績に応じた減額となりました。今後も森林組合などと連携し、事業体職員への研修等を通じて林業の事業推進を図り、人材育成と確保に努めてまいります。

人材確保・育成が急務な林業従事者



問 小尾議員

村の木活用事業2,000の委託料が334万円もの減額となった理由を教えてください。



鈴木農林課長

入札や見積合せにより執行残が積み上がり、最終的に減額となりました。

問 木村議員

宿泊税導入対応支援金の実績を伺います。また、今後新

規に開業する事業者への支援はどのように考えていますか。

平岡課長

導入支援金は11事業所に205万円、システム整備支援金は5事業所に約170万円を支給しました。今回の支援は令和7年度限りの措置であり、今後新たに開業する事業者への支援は現時点では考えておりません。

令和7年度 一般会計 繰越明許費繰越計算

令和7年度に執行できなかった経費を令和8年度に繰り越して使用するため、議会に報告するものです。

▼社会保障・税番号制度システム整備事業 他4件

計2,369万7,000円

条例の一部改正

▼占冠村公共施設の暴力団排除に関する条例の一部改正
暴力団員等の使用を制限する公共施設に、新たに特用林産物等加工施設（メープル工房）を追加するものです。

議決

▼財産の取得

- ・取得財産 総合行政システム
- ・取得方法 北海道市町村備荒資金組合
- ・防災資器材譲渡事業
- ・取得価格 1,223万7,511円
- ・取得先 北海道市町村備荒資金組合（札幌市）

令和8年度 補正予算

※主な内容は別表のとおり

問 木村議員

トマム地区公園の管理委託と整備事業は、今後何年継続する予定ですか。

阿部トマム支所長

公園の良好な環境を維持するため、公園が存続する限り管理委託は継続します。整備事業については、今後は大規模なハード整備は行わず、経年劣化に伴う物品の更新や環境維持のための整備を行っていく考えです。

問 小林議員

新たに予算計上された「畜産・酪農生産力強化支援補助

令和8年度 補正予算

一般会計(第1号) 2,230万円増

総額 32億3,700万円→32億5,930万円

- ・光ケーブル架替修繕 …………… 440万円増
- ・畜産・酪農生産力強化支援補助金 200万円増
- ・村道橋梁補修工事 …………… 479万3,000円減
- ・楓A棟浄化槽修繕 …………… 420万円増
- ・スキー場圧雪車、リフト修繕 273万4,000円増
- ・地域部活動指導員謝礼 …… 150万5,000円増
- ・社会教育地域活動輸送業務委託料113万円増など

村立診療所(第1号) 90万円増

総額 8,740万円→8,830万円

- ・医療用機械器具費 …………… 39万6,000円増
- ・消耗器材費 …………… 15万1,000円増 など

歯科診療所(第1号) 50万円増

総額 2,420万円→2,470万円

- ・燃料費、光熱水費等 …………… 50万円増

簡易水道(第1号) 1,402万5,000円増

収益的支出総額

1億2,023万5,000円→1億3,426万円

- ・中トママ導水ポンプ場ポンプ交換 319万円増
- ・道東道4車線化に伴う水道管移設工事設計委託 …………… 1,083万5,000円増

簡易水道については歳入と歳出の総額が異なるため、歳出総額を記載しています。

病気により繁殖用の母牛を失った畜産農家への新たな支援策です。村内酪農家の牝牛に受精卵を移植し、代理母として黒毛和種の子牛を生産させる際に要する費用を補助します。牝牛の出産を想定し、1頭あたり40万円、5頭分として200万円の予算を計上しました。この制度は今年度から3年間、短期集中的に実施し、畜産農家の救済を

鈴木課長



金二の内容を教えてください。

図ります。

問 小尾議員

人工造林(新植)工事の補正理由と、工事予定箇所、植栽樹種を教えてください。

両瀬室長

双珠別地区の土砂流出防備保安林において、当初予定の0.93ヘクタールに加え、上川総合振興局の要望により隣接する0.84ヘクタールも合わせて整備することとなり、112万円の増額となりました。植栽樹種はカラマツのコンテナ苗です。

問 小尾議員

新たに計上されたヒグマ対策普及啓発事業補助金50万円の内容を伺います。

両瀬室長

ヒグマによる人身被害の防止、農業被害の軽減等を図るため、ヒグマ対策の普及啓発を目的に本村で開催される「ヒグマの会」主催のヒグマフォーラムへの補助として増額計上しました。

問 下川議員

ふるさと祭り運営補助金の増額理由を伺います。



平岡課長

平成25年から運営補助金の額を変更せずに開催してきましたが、近年の物価高騰への対応や暑さ対策をはじめとする安全対策の必要性が実行委員会で議論され、今回の増額補正に至りました。

問 細谷議員

1,167万円の増額が計上された占川橋梁補修工事の内容を再度説明してください。



岡崎建設課長

国庫補助金の減額に伴う全体的な見直しを行う中で、占川橋の事業費を増額し、11号橋と東五線橋の工事費を減額しています。占川橋の増額は新たに吊り足場、下部工を追加したことによりです。

問 木村議員

スクールバス及び地域活動輸送業務委託料の増額補正が計上されていますが、福島県での部活動バス事故を受け、学校活動等における輸送の安全確保に対する村の考えを伺います。

上島教育次長

スクールバスは、中央地区から占冠地区へ転居する児童の通学支援のために運行が必要です。地域活動輸送業務は、活発化する地域クラブ活動を想定して計上しています。北海道教育委員会からの注意喚起も踏まえ、委託業者と安全運転について情報共有を密にし、徹底してまいります。



補修工事が進む占川橋

問 小林議員

地域部活動指導員謝礼が倍以上に増額補正された理由と、対象となる部活動について教えてください。

上島次長

生徒数の減少に伴い部活動が廃止され、国が進める「部活動の地域移行」に対応するためです。当初はソフトテニス少年団の活動を想定していましたが、令和8年度から書道クラブが地域クラブとして活動を開始し、さらに今後新たなクラブ活動が立ち上がる可能性を想定し、謝礼を増額しました。

人事案件

▼占冠村農業委員会委員の任命同意

字 中 央	安田 大吾氏
字 ニニウ	黒井 光絵氏
字 双珠別	伊藤 清志氏
字 上トマム	江頭 恵美氏
字 中 央	鈴木 貴大氏
字 双珠別	熊崎 一弘氏
字 上トマム	下川 園子氏



村長の行政報告

占冠駐在所の体制について

トマム駐在所の設置は、地域住民の長年の願いであり、実現に向けて地域全体で協力体制が構築されてまいりました。

村といたしましては、これらの地域の強い思いと具体的な支援体制を背景に、北海道警察本部をはじめとした関係機関に対して、継続的な要望活動を行ってまいりました。

こうした取組が実を結び、本年4月1日より占冠駐在所の体制が1名増員となりました。

占冠駐在所3名体制によるパトロールが強化され、トマム地区を含めた地域の安全・安心の確保に向けた態勢がより一層充実するとともに、これがトマム駐在所設置への足がかりになることを期待しております。

トマム駐在所設置までには至っておりませんが、引き続き、北海道警察本部など関係機関と協議を進め、トマム駐在所の正式設置に向けて取り組んでまいります。

地域活性化起業人（DX推進アドバイザー）の委嘱について

少子高齢化や定住人口減少が進む中で、限られた行政資源を最大限に活用し、住民サービスの質の維持・向上を図るため、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は喫緊の課題です。

しかしながら、この分野における専門的な知識や経験を持つ人材が不足している現状に鑑み、5月1日付けで、外部の専門家である地域活性化起業人（DX推進アドバイザー）に、他自治体でのDX支援実績が豊富な宮下直哉氏を委嘱いたしました。委嘱期間は本年10月31日までですが、委嘱開始から最大3年までの延長が可能です。

これにより、デジタル技術を活用した行政サービスの効率化・高度化、DX推進体制の強化と職員のスキルアップ、地域課題のデジタルによる解決策の創出、そして情報格差の是正と住民のデジタル活用能力の向上をめざしてまいります。

今後は、DX推進計画策定の資料とするため、推進に向けた課題の棚卸しと見える化を目的に、各担当へのヒアリング調査を実施し、その結果をもとに、優先順位の検討や課題の構造化、全体像の整理等を行い、今後のDX推進の方向性を定めてまいります。



意見書を提出

村民の声を
国政・道政の場に

- 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書
- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- 2026年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

議員派遣

北海道町村議会議員研修会

7月2日（札幌市）

報告者…大谷 元江 議員

札幌コンベンションセンターにおいて開催され、本村からは全議員で参加してまいりました。

研修会では、関東学院大学法学部地域創生学科教授 牧瀬稔氏による「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」、ジャーナリスト 須田慎一郎氏による「どうなる政治・経済」と題した2本の講演を拝聴しました。

牧瀬氏は、全国的な人口減少の局面下にあつて「人口減少は避けられない。問題はその変化に対応できないこと」、「国に踊らされるのではなく、地域の未来のため

全道から1,700人が参加



に行政や

議会が主体的に動くことが重要」など主張し、「地域の未来を決してあきらめず、地方議会が地域の将来

像を示していかなければならない」と訴えられました。

テレビ番組等でお馴染みの須田氏からは、「景気・経済の見通しと政治要因」「高市政権の財政・経済政策」「消費減税を巡る社会保障国民会議の議論」「定数削減法案と皇室典範改正法案をめぐる国会情勢」など、ジャーナリストならではの裏話を含めた興味深い講演を拝聴しました。

今の日本は設備投資をしないことが供給不足を招いていること、設備投資を向上させ経済成長につなげていかなければならないといった話が印象的でした。

我々議員も足元をしっかり見つめながら前に進んでいかなければならないと改めて感じた研修会でした。



須田慎一郎氏

令和8年 第1回富良野広域連合議会臨時会報告

令和8年第1回富良野広域連合議会臨時会が5月29日（金）に開催され、議案5件（補正予算1件、財産の取得3件、人事案1件）、報告1件が原案のとおり可決・認定されたほか、欠員となっていた常任委員会委員の選任、任期満了に伴う選挙管理委員会委員並びに補充員の選挙が行われました。

可決・認定された案件は、次のとおりです。

常任委員会委員の選任

- 大西知幸氏（南富良野町・文教環境委員会）

選挙管理委員会委員、補充員の選挙

- 指名推薦により各4名が当選

補正予算

- 令和8年度富良野広域連合一般会計補正予算（第1号）
歳入歳出それぞれ247万9,000円を追加
総額 25億6,230万4,000円➡
25億6,478万3,000円

財産の取得

- 富良野消防署：消防ポンプ自動車
- 上富良野消防署中富良野支署：高規格救急自動車
- 富良野学校給食センター：カートイン消毒保管機（2台）

人事

- 事務管理者の選任について
稲葉武則氏（富良野市副市長）再任

報告

- 繰越明許費繰越計算書について

※富良野広域連合は、富良野地方5市町村で組織され、消防、申内牧場、環境衛生センター、学校給食センター等の事務を効率的に行うための特別地方公共団体です。



おび 小尾 まさひこ 議員

▶中央団地の入居促進

▶空き家対策の現状と課題

▶長引く中東情勢からの物価高対策

1 中央団地の入居促進

問 本通行政区の中央団地は全30戸中17戸の入居状況ですが、公営住宅の性質上、所得制限があり入居促進は進んでいません。

現状の入居率57%に留まっている現状をどのようにお考えですか。

田中村長

村内公営住宅全160戸中、入居戸数131戸、募集中が7戸、未修繕8戸、政策空き家14戸です。入居要件である低所得者の住宅

困窮者にとって、空き家住宅に余裕があり、比較的に居しやすい状況にあります。

問 入居が進まない要因は、公営住宅法令による所得制限が現実と合致していないからではありませんか。

田中村長

公営住宅は国の補助を受け整備し、低所得者に貸する住宅です。平成21年に法改正され所得制限が月収20万円以下から現状の15万8千円以下になり、低所得者層に入居要件を絞り込んだ経緯があります。

問 村営住宅管理条例の改正で所得制限の限度を緩和し、入居促進を図るべきと考えますがいかがですか。

田中村長

子育て、高齢者、障がい者世帯では、裁量世帯として21万4千円以下まで緩和している実態があります。

2 空き家対策の現状と課題

問 村民の高齢化の進行により空き家対策はさらに深

刻化しています。

現在の空き家バンクの登録状況と有効利用の実績を伺います。

田中村長

登録件数は9件、物件の種類はすべて土地であり、村ホームページで周知しています。有効利用の実績は延べ25件の登録に対し、11件の売らないし賃貸の契約が成立しています。

問 改正空き家法による管理不全の空き家に対する固定資産税の増額のお考えはありますか。

田中村長

住宅用地特例の廃止による効果は限定的なものに留まりますが、空き地等の状況調査を進め必要に応じて住宅用地特例の解除を行ってまいります。

3 長引く中東情勢からの物価高対策

問 国も電気、ガス料金やガソリン代金の補助など継続的な支援を行っています。今後石油由来の資源等が入手困難となる事態も

予想されます。

村民の物価高騰対策支援は、商品券配布といった取組のみですか。

田中村長

村独自の施策で村民一人当たり1万円の共通商品券事業、国庫補助対象外の学校給食無償化などの支援をしています。

問 商工業者、農業者への経営支援策はお考えですか。

田中村長

金融支援補助金として22事業所に対する利子補給事業を実施しています。農業者には、農協系統の飼料購入者8件に対し支援をし、今年度も継続しております。

問 診療所、歯科診療所での診察に支障をきたしている状況はありますか。

田中村長

現状の運営に支障をきたしていませんが、引き続き医療機器、製薬メーカー等からも情報を収集し動向を注視してまいります。

▶公共施設へのエアコンの設置を

▶スキー場の安全対策と今後の運営方針は



ほそや まこと
細谷 誠 議員

1 公共施設へのエアコンの設置を

問 今後設置の必要性が高いと認識されている公共施設の現状と職員等の室内環境に対する村の現状認識を伺います。

田中村長

学校、保育所、学童保育の実施場所、公民館など順次整備を進め、今年度は保健福祉センターノノノにエアコン整備を行う予定です。今後の設置の必要性が高いと認識している公共施設は占冠村総合センターと、富良野広域連合占冠支署です。職員の室内環境に



整備されたエアコン
(保健福祉センターノノノ)

については近年の温暖化による環境改善が必要と認識しています。

問 人命・安全に直結する消防施設へのエアコン設置は特に最優先で実施すべきと考えますが村長の見解を伺います。

田中村長

当該消防庁舎は、自家発電設備も備えていることから災害時における臨時避難所としての役割も期待されるところでもあり、2階を避難所として緊急防災対策事業債、その他防災関連の補助金を活用し、1階執務室、2階研修室、和室を含め検討中です。

2 スキー場の安全対策と今後の運営方針は

問 本村のスキー場はロープトウーを使用してありますが、機械の整備、監視員の配置、緊急停止の方法など本村のスキー場安全対策はどのように行われているのか伺います。

多田教育長

占冠中央スキー場のリフト利用に関しては使用に慣



占冠中央スキー場のロープトウー

れた関係者の付き添い、指導など、監視体制の重要性を認識し、非常時の対応と安全対策の徹底を図り、機器と圧雪車の点検整備はシーズン前に実施し必要に応じ修理等を行なっています。監視員につきましては第1、第2リフト各1名配置し転倒時の緊急停止など速やかに対応できるよう配置しています。

問 機械、機器の整備はシーズン前に行なっているとのことですが、整備に精通している係員は何名いるのか、その整備と方法はどのように行われているのか伺います。

多田教育長

保守点検業務委託も含めて精通する方は1名、ロープトウ設置業者の所有していた点検マニュアルに従い個人に委託し実施しています。

問 運行規定、安全対策マニュアルはあるのか伺います。

多田教育長

教育委員会が作成したマニュアルはありません。リフトの設置業者が作成した点検、運転マニュアルに基づいた運行、安全対策を実施しています。

問 人手不足と思われます。村内企業、一般募集も含め再度検討してはいかがでしょうか。村民はもとより近年ローカルスキー場の人気もあり貴重な施設と考えますので今一度安全運行に務めるべきと考えますが伺います。

多田教育長

運営体制、利用向上対策など、様々な可能性を検討し維持に向け取り組んでまいります。



こばやし じゅん
小林 潤 議員

▶宿泊税導入に係る徴収業務

▶「第2期創生総合戦略」の成果及び総括

1 宿泊税導入に係る徴収業務

問 4月から5月にかけて、宿泊税導入後初めての徴収期間となりました。徴収業務はスムーズに行えたのか、その状況について伺います。

田中村長

徴収業務の状況については、概ねスムーズに進行しているとの認識をしております。宿泊税の説明会などにより、事業者の皆様が制度内容を十分に理解頂いたことが大きな要因であると考えております。

宿泊税の徴収がスタート

日付	品名・数量	単価	数量	ご利用金額	備考
07.11	1014	二泊泊料金	5,600	1	5,600

課税対象外	¥1,700
10%対象	¥3,900
(内消費税)	¥354

ご利用金額	5,600
内消費税	(354)
内宿泊税	(200)

ご利用金額には、サービス料・消費税が含まれます。
括弧つきの商品は軽減税率対象となります。

問 北海道分の宿泊税も村宿泊税と併せて徴収することになっていきます。北海道宿泊税徴収取扱費として予算で300万円が計上されておりますが、算定基準（率等）について伺います。

田中村長

予算に計上している300万円は、宿泊税の徴収に当たり、賦課徴収のシステム開発及び改修に係る経費の2分の1が北海道から交付されるものです。北海道宿泊税に係る徴収取扱費の4%が北海道から交付されます。この交付金は、令和8年度分が令和9年7月に確定するので、翌年度交付となります。

問 歳入に宿泊税7,150万円を計上し、一方で歳出として宿泊税基金積立金832万3,000円が計上されております。この積立金の意図について伺います。

田中村長

宿泊税は、導入初年度の収入であり、様々な要素から不透明な部分がありま

す。

本村の観光振興をさらに推し進めていくためには、新たな事業展開に際し、迅速かつ柔軟に対応できる財政的基盤を確保する必要があります。こうしたことから、計画的に基金を積み立てること、将来的な財源を確保するものです。

2 「第2期創生総合戦略」の成果及び総括

問 村では、「第2期占冠村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和5年度末現在の実績と数値目標や重要業績評価指標（KPI）の達成状況を公表されておりますが、その中には達成率が「遅れがみられる」と評価された施策もありました。この遅れの理由と、公表内容をどのように総括し、今後の事業展開に反映される予定であるのか、村の認識を伺います。

田中村長

現在集計中の令和7年度末の数値におきましても、残念ながら目標には達しない見込みです。今年度検討

委員会の中で「第2期総合戦略」の総括を行い、今後策定を進める第3期総合戦略において、今回の達成状況の総括を十分踏まえた、実効性のある施策を検討してまいります。

問 村総合計画と創生総合戦略はそれぞれ重要な計画であると認識しておりますが、これらを一本化して策定することについての考えを伺います。

田中村長

両計画が本村の将来を展望し、持続的な発展を図る上で重要な計画であるとの認識は、私も同じであります。現時点においては国が示している総合計画等と地方版総合戦略にはそれぞれ策定の目的が異なっており、直ちに一本化して策定することは考えておりません。

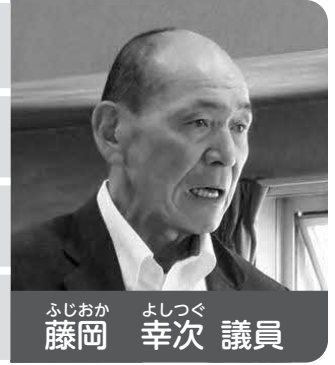
それぞれの計画が持つ役割や特性、そして法的な位置づけの違いも踏まえて、適切に連携を図りながら、有効な計画を策定していくと考えております。

▶大規模災害に対する備え

▶子育て世代人口流入支援強化策

▶道の駅看板（観光振興）

▶デジタル教科書と紙の教科書



ふじおか よしつぐ
藤岡 幸次 議員

1 大規模災害に対する備え

問 大規模災害に対する備えの現状、ボランティア受け入れ窓口の社協との連携体制、外国人の方々に対する対応策の三点について村長の考えを伺います。

田中村長

占冠村地域防災計画に基づき、避難所の整備、備蓄物資の充実、風水害を想定した訓練を実施していきます。ボランティア受け入れについては、社会福祉協議会との連携により早期の災害ボランティアセンター設置により対応していきます。外国人の方に対する対応については、5、6名の英語対応職員を動員して対応することとしています。避難所におけるピクトグラム表示およびホームページには四言語表示対応の取組をしています。

2 子育て世代人口流入支援強化策

問 本村の子育て世代に對



子どもの笑顔が溢れる村に

する住宅取得支援策をどの様に評価しているのか、また、流入人口増加に向けた取組についての考えを伺います。

田中村長

子育て世代支援は私の重要政策の一つでもあります。

今年度より新たに、マイホーム奨励事業措置として、子育て世帯支援を拡充しました。今後に向けても引き続き成功事例や先進的な自治体の取組などを参考

に強化に取り組みます。

3 道の駅看板（観光振興）

問 道の駅丸太のシンボル看板は老朽化により撤去されてから一年以上経つが、再設置の考えはあるのか、また農村公園駐車場出店看板は老朽化だけでなく表示漏れ状態が続いています、至急改善すべきと思うが考えを伺います。

田中村長

道の駅のオブジェ看板に



撤去された道の駅丸太看板

については、検討を加速させて結論を出します。農村公園駐車場出店看板については、至急対応します。

4 デジタル教科書と紙の教科書

問 デジタル教科書について、学校現場における活用状況と、児童生徒・保護者の受け止めの認識、また、デジタル教科書、紙の教科書、それぞれの評価、子供の成長期における健康面からのガイドラインを伺います。

多田教育長

デジタル教科書導入については、子供の特性や学習目的にあわせた環境整備を目的に進めています。教育現場からは学年が進むにつれて使いやすいとの声が上がっており、児童生徒が自主的に選択活用していると認識しています。健康面からは利用ガイドブックの作成・活用により配慮しています。今後においても適宜対応していきます。



おおたに もとえ
大谷 元江 議員

▶占冠村手話言語基本条例の制定を

▶ゼロカーボンシティ占冠宣言の成果は

1 占冠村手話言語基本条例の制定を

問 「手話施策推進法」が衆議院の本会議で可決成立しています。手話に関する施策の推進は、国及び地方公共団体の責務と明記されていますが村長の考えを伺います。

田中村長

本村においても手話に関する施策を進めているところですが、単独自治体では難しい面がありますので、富良野圏域5市町村で障がい者地域生活支援事業に取り組んでいます。また、「盲ろう者通訳介護養成講座」受講生募集、「要約筆記者養成講座」募集案内等を周知しており、今後も手話に対する必要な施策を進めてまいります。

問 「誰一人取り残さない」というSDGsの理念があります。手話言語基本条例を制定し、色々な状況の方でも住める地域にしていくなかと思いますが、考えを伺います。

田中村長

道内でも、道・25市14町3村が条例を制定していますが、その地域に適したものをつくるとというのが基本的な考え方です。本村ですぐに制定することは考えていませんが、その際は占冠の実情に沿った基本条例を制定したいと考えます。

2 ゼロカーボンシティ占冠宣言の成果は

問 ゼロカーボンシティ占冠宣言後の村民や事業者等の取組状況についてどのように把握されているのか伺います。

田中村長

宣言に合わせて「ゼロカーボン占冠アクション」を策定し「できることから



手話であいさつ

始めましょう」の合言葉でスタートしました。村広報での周知や家庭の二酸化炭素排出量見える化アプリ、北海道ゼロチャレンジ家計簿の紹介等を行ってまいりました。村全体の二酸化炭素排出量は減少傾向です。

田中村長

ゼロカーボンの理念を浸透させることは時間も要することと理解しています。広報誌等での啓発やイベント等の機会を通じて伝えることが大事だと考えております。

問 この施策を強力に展開するために、住民参加の「検討委員会」等が必要と思いますが伺います。

田中村長

庁舎内における連携体制の強化はもとより、村民、事業者の皆様と一体となり推進することが不可欠と認識しております。今後のゼロカーボン施策を進めるうえで庁舎内の横断的な連携は重要と考えていますので実現に向け積極的に取り組んでまいります。



お買い物はマイバッグで！

議 員 の 主 な う ご き

令和8年第2回占冠村議会
定例会(3月12日)以降



トマム学校・トマム保育所合同大運動会【5月31日】

- 3月12日 議会広報特別委員会(各委員)
- 13日 令和7年度占冠村立トマム学校卒業証書授与式(各議員)
- 19日 令和7年度占冠村立占冠中央小学校第114回卒業証書授与式(各議員)
- 令和8年度陸修偕行社「防衛講話」(上富良野町一議長)
- 森下泰臣・第39代陸上幕僚長を囲む会(上富良野町一議長)
- 26日 令和7年度占冠村清流大学卒業式並びに修了式(議長)
- 29日 南富良野町長選挙当選祝い(南富良野町一議長)
- 4月 6日 春の交通安全運動街頭啓発活動(各議員)
- 7日 令和8年度占冠村立トマム学校入学式(各議員)
- 令和8年度占冠村立占冠中央小学校入学式(各議員)
- 令和8年度占冠村立占冠中学校入学式(各議員)
- 10日 議会広報特別委員会(各委員)
- 15日 上富良野駐屯地司令及び多田弾薬支処長異動に伴う歓迎会(上富良野町一議長)
- 16日 議会広報特別委員会(各委員)
- 23日 令和8年度占冠村清流大学入学式並びに始業式(議長)
- 24日 令和8年度富良野地方自衛隊協力会役員会、定期総代会(上富良野町一議長)
- 30日 総務産業常任委員会(各委員)
- 5月 25日 議会運営委員会(各委員)
- 全員協議会(各議員)
- 26日～28日 令和8年度全国町村議会議長会議長・副議長研修会(東京都一議長)
- 31日 令和8年度占冠村立トマム学校・トマム保育所合同大運動会(各議員)
- 第4回占冠中央小学校・占冠中学校合同運動会(各議員)
- 上富良野駐屯地創立71周年記念式典ほか(上富良野町一議長)
- 6月 3日 令和8年度上川地方総合開発期成会定期総会及び専門部会(旭川市一議長)
- 9日～10日 北海道町村議会議長会第77回定期総会及び議長・事務局長研修会(札幌市一議長)
- 10日 議会運営委員会(各委員)
- 13日 占冠神社春季例大祭及び五穀豊稔祈願祭(議長)

【富良野広域連合議会関係】

- 5月 22日 令和8年第1回富良野広域連合議会臨時会議案説明(広域連合議員)
- 29日 富良野広域連合議会運営委員会(富良野市一広域連合議員)
- 令和8年第1回富良野広域連合議会臨時会(富良野市一広域連合議員)
- 富良野広域連合議会文教環境委員会(富良野市一広域連合議員)

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



児玉議長

傍聴するのに特別な服装や準備はありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の予定

9月定例会 → 9月16日(水)・17日(木)

※いずれも午前10:00開会
※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

広報からのお知らせ
各行事等では広報の取材・写真撮影をさせて頂いています。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

広報からのお知らせ

委員 長 藤岡 幸次
副委員 長 小林 潤
委員 小 尾 雅彦
委員 大 谷 元江

▼議会広報特別委員会(後期)

夏が過ぎて秋祭り、収穫の秋に感謝ですね。今から子供たちの秋の文化祭発表が楽しみです。(藤岡)

編集後記

朝日は昇る

夏至の大安、素晴らしい朝日を迎え山には小鳥のさえずりが響き渡り、あたりには牧草の香りに包まれて生き物たちは元気に躍動する朝でした。

五年に一度の国勢調査の結果、占冠村は全国で5番目、北海道で1番の人口増加率の自治体となりました。これは、トマムリゾートが主な要因です。これからは、子育て世代増加に向けて村民の方々、行政、村議会一体となり知恵を出し合い、各学校に多くの子供たちが元気に遊び学ぶ自治体を目指しましょう。

発行:占冠村議会 編集:議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184
URL <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。